



2009～2010 年度 RI 会長
John Kenny



東京赤坂ロータリークラブ

NO.1088 / 2010.04.23

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目 アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka>

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」

2009～2010年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ/四分一勝会長

●本日の例会/2010 年 4 月 23 日 第 1113 回例会

コンサート： 大江 馨氏（ヴァイオリン）

梅村祐子氏（ピアノ）

曲目： ヴィエニアフスキ「ポロネーズ」

ラヴェル 「ツィガヌ」

●前回報告/2010 年 4 月 16 日 1112 回例会

第 5 回クラブ協議会 (13:10 ～ 15:00)

テーマ： 「例会の活性化」



東京南 R C 藤原氏



東京神田 R C 鈴木氏



水戸さくら R C 辻氏



ソングリーダー入澤会員



ニコニコ松本会員



来客紹介岩上会員

社会奉仕委員会：（長谷川弘志委員長）

チリ地震義捐金、本日で締め切りとさせていただきます。12,000円の浄財を皆様より頂きました。ご協力ありがとうございました。

SAA：（松永リーダー）

本日の食事は久しぶりに温かいメニューを出すことができました。先々週、麻布とのゴルフコンペでの賞金を会長、副会長、幹事から寄付していただきました。また頑張ってください。ありがとうございました。

次年度橋本幹事：

① 次年度の各委員長は今月末までに副委員長・委員の人選をお願いいたします。ただし、各委員の兼務は 3 委員会までといたします。

② 5 月 11 日に開催の地区協議会へ出席者は次の方々です。
吉岡会長、橋本、尾上、小林、入澤、竹本、内田。出席は必修ですのでよろしくお願いいたします。



出席報告：会員 47 名／出席 23 名・欠席 24 名

ビジター/ 藤原有三（東京南 R C）、鈴木一行（東京神田 R C）、辻忠志（水戸さくら R C）計 3 名（順不同・敬称略）

4 月 16 日／10 件 20,000 円

本年度累計 1,030,000 円

多額の寄付を有難うございました。（敬称略）

村山公士/先週、金毘羅歌舞伎を見てきました。地方の豊かさ、温かさを感じました。清水實/今日は寒い日。韓国はもっと寒い？ヤボ用で参加出来ず残念です。尾関武男/寒い中、皆さん例会出席ご苦労さまです。松本さんニコニコお世話かけます。西澤民夫/本日のクラブ協議会はよろしくお願ひします。武下朗/松本さん、ニコニコご苦労さまです。小原健/寒いのは、もう十分です。四分一勝/思いがけない天候ですね。クラブ協議会よろしくお願ひ致します。岩上義明/四月中旬だというのに寒うございます。でも今日は温かい昼で嬉しいですね。吉岡琢磨/松本さん、ニコニコご苦労様です。岩上さん先日は女房共々お世話になり、ありがとうございました。松本智/4 月より関係会社に来ました。錦糸町に会社があります。スカイツリーが良く見えます。

●次回予告/2010 年 5 月 7 日（金）第 1114 回例会

卓話予定：「建築とアート」

株式会社松田平田設計

代表取締役社長 中園 正樹 氏

* 4 月 30 日（金）の例会は、休会となります。

第5回クラブ協議会議事録

日時：2010年4月16日(金) 13:10~14:30 (80分)

出席者：四分一、尾関、橋本、武下、村山、尾上、高須、
岩上、渡部、吉岡、飯島、柴本、清水、入澤、
佐藤、長谷川(弘)、内田、松永、西澤

計 19 名

テーマ：前半 「災害時給水・トイレマップについて」
後半 「例会の活性化」

<前半>

「災害時給水・トイレマップについて」

- ① 作成部数が3000部と多くはないので、港区を中心に配布する方向。
警察などは、外国人が多く居住している場所などを把握しているので、聞いてみるのもいい。
- ② 港区に対し、プレスに発表していただくよう協力してもらう。
- ③ デザインについては、何箇所か改善点が必要。版ができた（校正のきく段階で）武下会員に見ていただきアドバイスをいただく。

まとめ：皆様のご理解をえられたということで、連休明けに出来上がる予定。第1回の例会で発表できるようにする。
(松永)



<後半>

橋本次年度幹事 説明；「例会の活性化」

橋本：充実した例会の在り方について話し合いたいと思う。それには次の要素があると思う。①楽しい例会作、②友情と絆に直結している。会員相互のコミュニケーション作り。③社会奉仕のありかた。参加の意識 ④広報活動 ⑤他クラブに比べて会員相互の仲がよいと云われるクラブ作りが出来ればよいと思います。具体的にどうしていったらいいか考えて話し合えればよいと思います。

入澤：例会に来ていただくにはどうしたら良いか。良いプログラムでも来ていただかなくては始まらない。また、当クラブは3年未満の新しい会員にやめる人が多い。東京芝 RC は入会3年以内の人が退会しないという。2人の新会員を10人の会員で面倒をみる。そして魅力的な活動を取り入れ、ロータリーを好きになるようにしている。入会した時が大事である。ロータリアンは人を育て、奉仕の精神があつてこそ、市民からみとめられ、入会に結びつく。親睦だけでまとまるというには、そこに無理があり、奉仕があつて認められることもある。クラブの活性化については、南とか麻布と比べて赤坂が活性化しているか、という比較をしてもわかりにくい。だから、より具体的に考えるといいのではないかと。

橋本：本日のテーマは、クラブの活性化をするには、例会の活性化が含まれる。という意味です。それには、出席率も重要で、クラブ活性化は例会の活性化が必要である。

内田：クラブの活性化ということですが、ここにでていることは重々わかっている。出席してもらうことが活性化である。では、例会に出てこない方が、どうしているか。ということである。どなたかが、コンタクトとってみる必要はあるのではないかと。出席率の悪い入会して間もない方は、入会紹介者の方が、伺ってみるのはどうでしょうか。どこが不都合なのか聞いて、そこを直していけばいいのではないのでしょうか。

武下：例会に出席しない理由をアンケートとってみたらどうか。一番最後に、何が不都合なのか直してほしいかを質問してはどうか。

西澤：理由の1つに、無理やり入れた。忙しいから出席が難しいのにもかかわらず、義理で入った人がいる。私もそのうちの一人だが、出席しているうちに楽しくなって、ずーと残ってしまった。他の人もそのような人がいるのではないかと。アンケートをとって、明確化してしまうと、「じゃあ、やめよう」となってしまう可能性もあるので、あえて曖昧にしておくのもいいのではないかと。財政の面からいうと、出席できない方も協力していただいている、ということもある。出席できない理由は、紹介者が知っているのではないかと。紹介者といわず、だいたい誰かが理由を知っている。

長谷川(弘)：全員が出席してしまうと、財政破綻してしまうため、新規に入ってくださる方について、出席できる方をお誘いするようにすればいいと思う。次年度 SAA としては、食事について考えていきたい。

例会の活性化を考えると難しい。プログラムがよくても、きている人にしか伝わらない。だから、新しい会員にのみ、理解していただければいいと思う。私が入ったとき、赤坂 RC の例会は、紹介者の人のそばにいても、どこへ座っても違和感なく入っていった。また、テーブルを小さくするのもいいのではと思う。今例会のテーブルは大きいので、話が伝わりにくい。例会の私語は慎むべきだけど、例会の場でコミュニケーションを広げてもいいのではと思う。こういった機会を広げることで、クラブが活性化していると、他のクラブから見られるのではないだろうか。

橋本：雰囲気作り。居場所のいい例会をつくることで、退会者を少なくする。赤坂 RC は仲がよいということが、周囲に広がるのがいいのでは、と思う。

村山：例会はロータリーの基本。例会の活性化がクラブの活性化であり、クラブが活性化しているば例会が活性化している。昨年度は、100%出席を目標にした例会を設けた。実際は、100%ではないが、効果はあったように思う。それは、今まで出てこない方にアクセスをとったアクションをしたので、コミュニケーションが取れた。こういったきっかけは大切ではないかと思う。3年未満の件は、芝の例が参考になる。考えていく必要のテーマである。

橋本：100%出席は、出てこない人の意識の向上にはつながったと思う。今年度は、親睦委員長として、火曜会の出席に苦勞している。電話でお誘いしている。その効果があり、毎回15名以上いる。連絡を取り合うことでコミュニケーションがとれる。相手の意識の中に入ってくると思う。

～次回へ続く～ (敬称略)